

茶道真室目次

全

783



門ヲ多
稀 783
巻

○臺天目



一 天目ハ貴人ノ時之事也。客ノアシラヒナリ。

式

一 中ニ間法ノ如ク水指前ニ茶入置合セ客坐ニ着テ法ノ

コトヲ仕込クル臺天目持出テ但シ持ヤウハ左ニテ葉ヲ持右ニテ

カリノ坐ニ置キ茶入置キ直シ左ニテ臺ヲ持右ニテ初ノコトニ茶

入ト置合セ勝手へ入水コホシ柄杓蓋置例ノ如クシテ持出柄

杓引キ一礼在テ臺天目初ノ如ク持前ニ置キ茶入前へ取り

袋ヲ取り茶入ヲフキ置付ル事常ノ如クサテ茶扱ヲフキ茶

茶扱真ニラナリ

茶入トフキ合ストキ右ニテ葉ヲ持左ニテ葉ヲ持逢候事不白ニ有之ハ
不善由但ラ合ストキトカリノ坐ニテ持テテ

入カケ茶釜置合水指ノ蓋ヲフキ茶巾ヲ置事常ノ如シ扱
 初ノ如ク臺天目ヲ持少レ削ヘヨセ柄杓ヲ持釜蓋取り湯ノ少
 シ天目入但レ柄杓ヒキツ扱釜カケ兩手ニテ天目ヲ取り上ケ左ニテ
 湯ヲ捨テ右ニテ露ヲ切り又兩手ニテ臺ヘチキ又湯ヲ入テ茶
 釜ヲ天目入レ兩手ニテ天目取り上ケ臺ノ左ノ方ヘチキ但レ時ハ二度見
 湯ヲ入テ扱テ服紗ヲ出レ四角ノ拂ヒ真ニタミ右ニテ持右手ニテ
 中蓋ハシ扱テ服紗ヲ出レ四角ノ拂ヒ真ニタミ右ニテ持右手ニテ
 クサヲ持ナカラ臺ノ右カケ左ニテ同ク左ノ葉ヲ持取り上ケ中ニ
 テ臺ノホウツキノ前ヲ左ヨリ右ヘチキ同向ヲフキ葉ノ前ヲ同ク
 フキ葉ノ向ヲ左ヨリ右ヘチキ前ノ左ニテフキ廻レ又右ヘチキモトシ
 トメル直ニ初ノ如ク兩手ニテ持下ニ置テ服紗仕廻ヒ兩手ニテ香

茶セントウレ
 スミ湯ヲ捨テ
 露ヲ切事ハ四
 様ナリ
 湯ヲ捨テ右ニテ
 露ヲ切茶巾
 取天目ヲク又
 茶釜トウレ
 スミ直ニ茶巾
 取湯ヲ捨テ
 茶巾ニテ露
 切フ右四保
 本又下分明故
 後ニ記置也
 不羨再聞如此

シ取り、左ヘトツト持テ、前中ニテ茶釜トウレ但レ音ナシクリシ
 ナキ音直ニ茶釜ヲ置付左ニテ湯ヲ捨テ茶巾ヲ取リ露路ヲ切
 右テヨシ直ニ茶釜ヲ置付左ニテ湯ヲ捨テ茶巾ヲ取リ露路ヲ切
 リ直ニ天目ノ内ヘ入レ茶巾取り直シ天目ヲフキ茶巾直ニ釜
 ノ蓋ヘ置但レ時水兩手ニテ天目ヲ臺ヘチキ常ノ如ク茶扱
 指ノ上ヘチキ
 ントリ茶入ヲ左ニテ取り茶ヲヨキ程入茶扱天目ノ内ヘカイ
 先ヲ落シ入レ置茶入ノ蓋ヲシテ置付ケ茶ヲホトキ茶扱ヲ天
 目ノ内ニテカイ先ヲ當テ拂ヒ茶扱ヲカケ水指ノフタトリ、
 柄杓ヲ取り直シ水ヲサシ但レ時柄杓トキ扱ノフタトリ湯ヲ汲ミ入レ茶釜ヲ
 取り、左手ヲ天目ヘノ、茶ヲフニカニフリ点ルナリ茶釜元ノ所ヘ
 置キ、兩手ニテ臺ノ葉ヲ持テ、客ノ方ヘ一膝開キ、左リキヲ向

一ツリ右ヲ前へツリ、其臺ヲ廻シ是ノ臺ハ右ニハリ圖ノ所へ出直ニ其ニ向
ヒ居ル但レ炉ノ時ハ中仕
廻レテ後向ヒ居

一 客方臺ヲ両手ニテ取り前へヨセ次へ一礼ヲレテ左ニテ臺ノ葉
ヲ持テ右手ニテ天目ヨリホウツキへ持ツ但レ香ヤ
リ在リ右ニ通ト又ハ如此ニ口吞テ下ニ置天目ヲ取り吞テ又臺へ
未坐吞終リ
色次ハ廻スモ在リ又ハ向始ノヨリ天目ヲ取りノモアリ

上坐一カヘス上坐次へ一禮在テ天目ヲ見テ照へ置き臺ヲ見テ下ニ
置き天目ヲノセ次へ廻ス段々如此又未坐ヨリ上坐へ廻ス上坐向ヲ
前へ廻シ初ノ如ク主方へ返ス但レ初メ茶ヲ吞テ廻ス時モ
段々下ニ置きニワス

一 主方客茶ヲ吞天目ヲ見ル内点前へ向キ金一水ヲ指カ或ハ茶
巾ヲタ、直ス但レ炉ノ時ハ柄杓ヲ持テ蓋ヲ取り柄杓ヲ
カケ茶巾ヲテヘテ水指ノ蓋ヲ取リ扱テ天目返リ

タル時客へ向ヒ其臺ノ兩葉ヲ持テ廻リ前ニ置ク

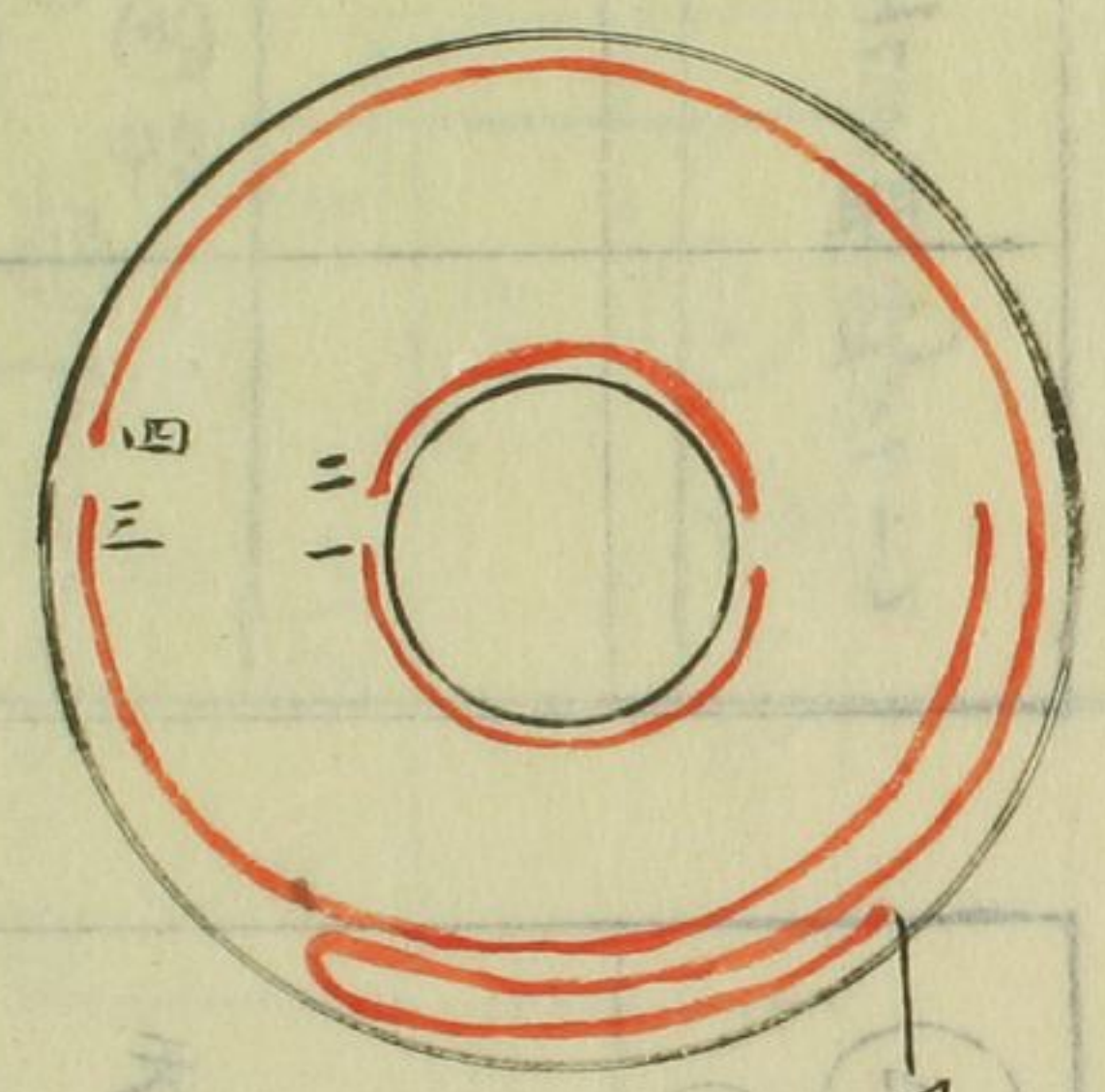
- 一 客此時惣禮ス
- 一 主是ヲ受テ湯ヲ汲、入兩手ニテ天目ヲ取左ニテ湯捨テ
露ヲ切り兩手ニテ其臺へ置ク仕廻ノ礼在テ水ヲ汲入茶
釜ヲ入レ左キツソハ茶釜ヲス、キ其臺ノ上ニテスルナリ茶釜
元所へ置キ兩手ニテ天目持テ左ニテ水ヲ捨テ茶巾ヲ
取り天目ヲツキ茶巾ヲ内へ入ツキ兩手ニテ天目其臺へツキ
茶巾タ、ミ入レ茶釜ヲ入レ茶扱フキ天目へ掛ル事常ノ如レ
茶入片ヨセ其臺天目初ノ如ク置キ合ス
- 一 釜一水ヲ指シ水指ノ蓋ヲレノル

- 一 客方茶入茶扱袋ヲ所望スル
- 一 主是ヲ受テ柄扱蓋置仕廻ヒ臺天目ヲカリノ坐へ置茶入ヲ取り一膝ヒラキ前ニ置フキ出シ茶扱袋出テ事常ノ如シ
- 一 柄扱蓋置水コホシ引臺天目初ノ如ク持テ入り木指ヲ引ク
- 一 主天目ヲ引タル時客方茶入茶扱袋ノ前ニ取り見テ廻ス又見終テ返ス事常ノ如シ
- 一 主出テ一禮在テ但此禮客方アイサツ所ナリ茶入茶扱袋持テ引事常ノコトシ

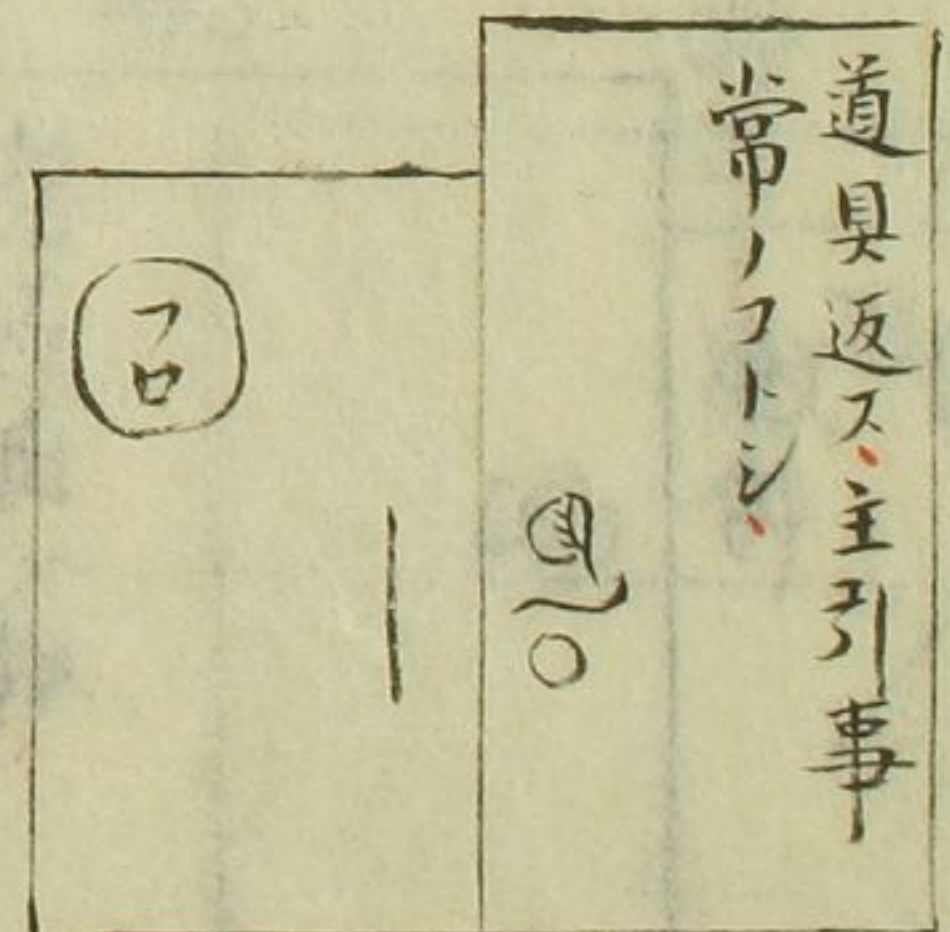
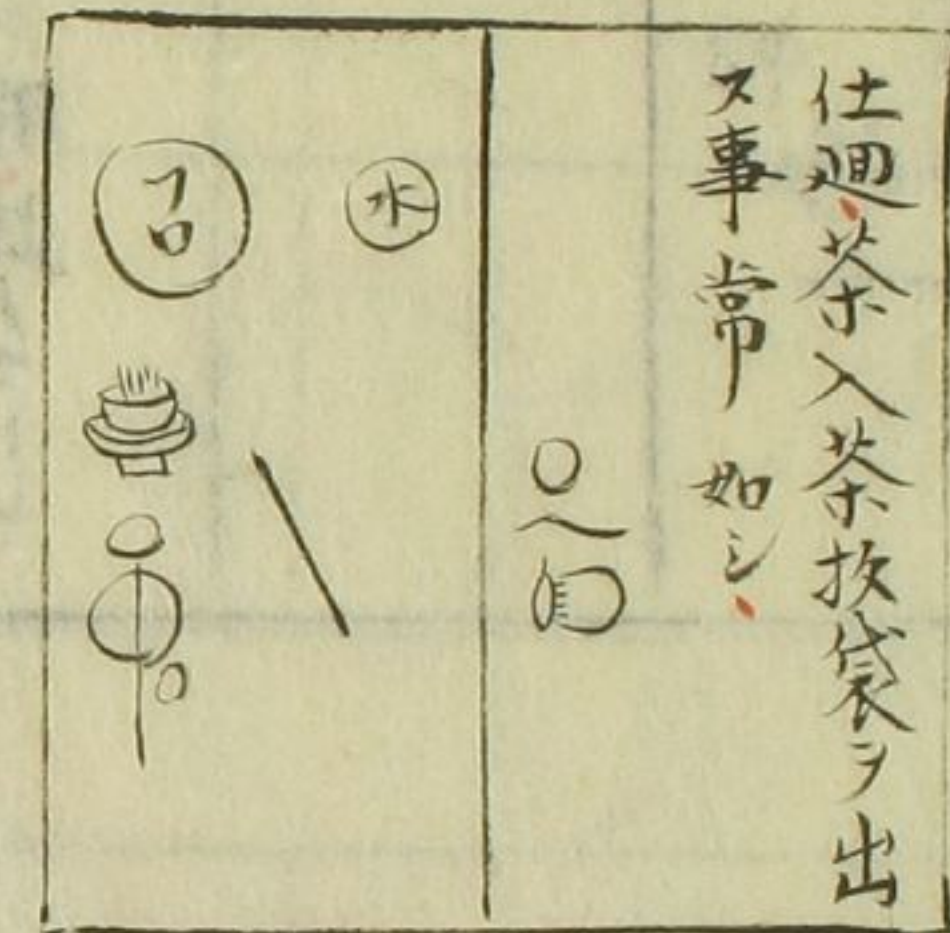
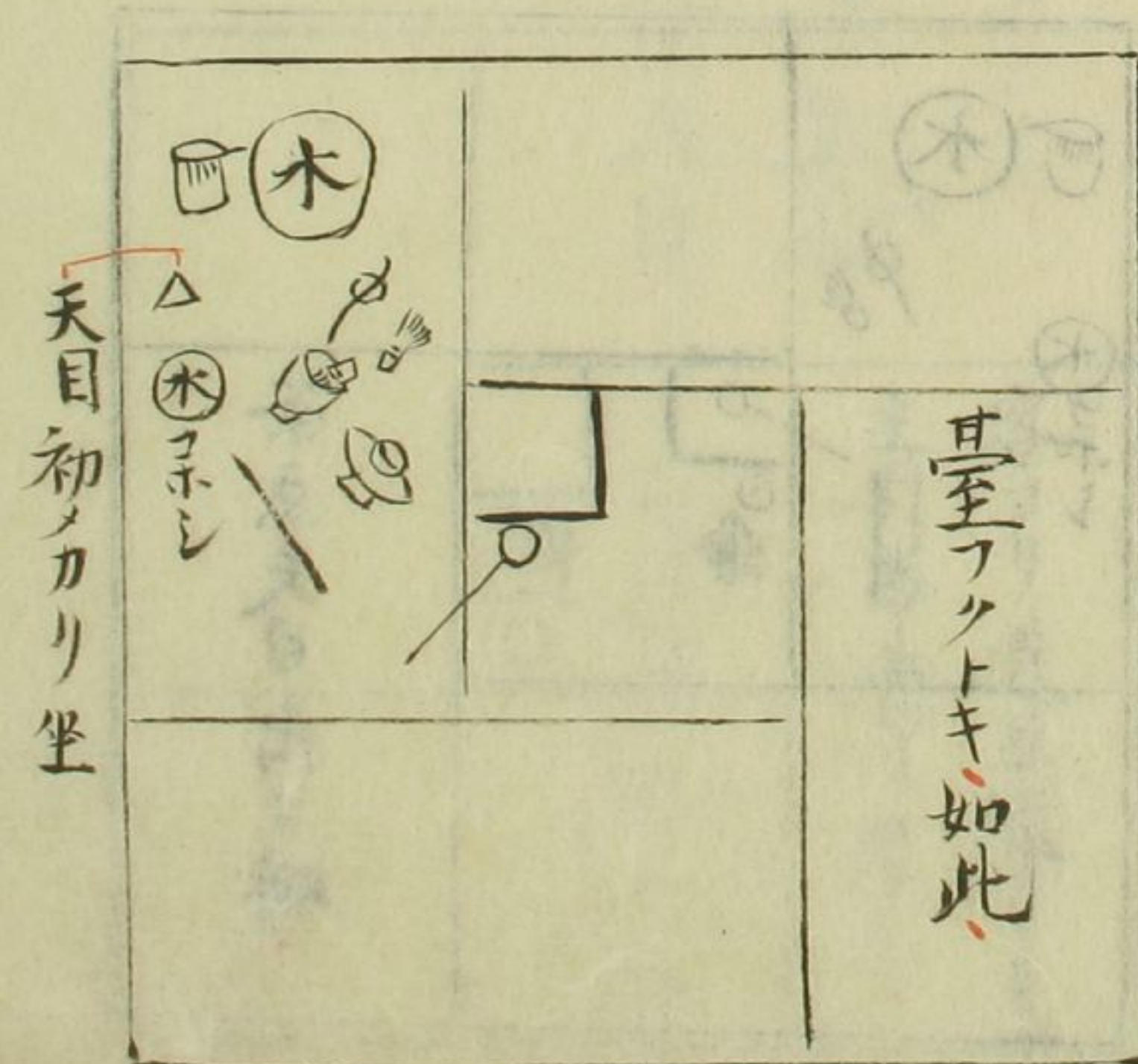
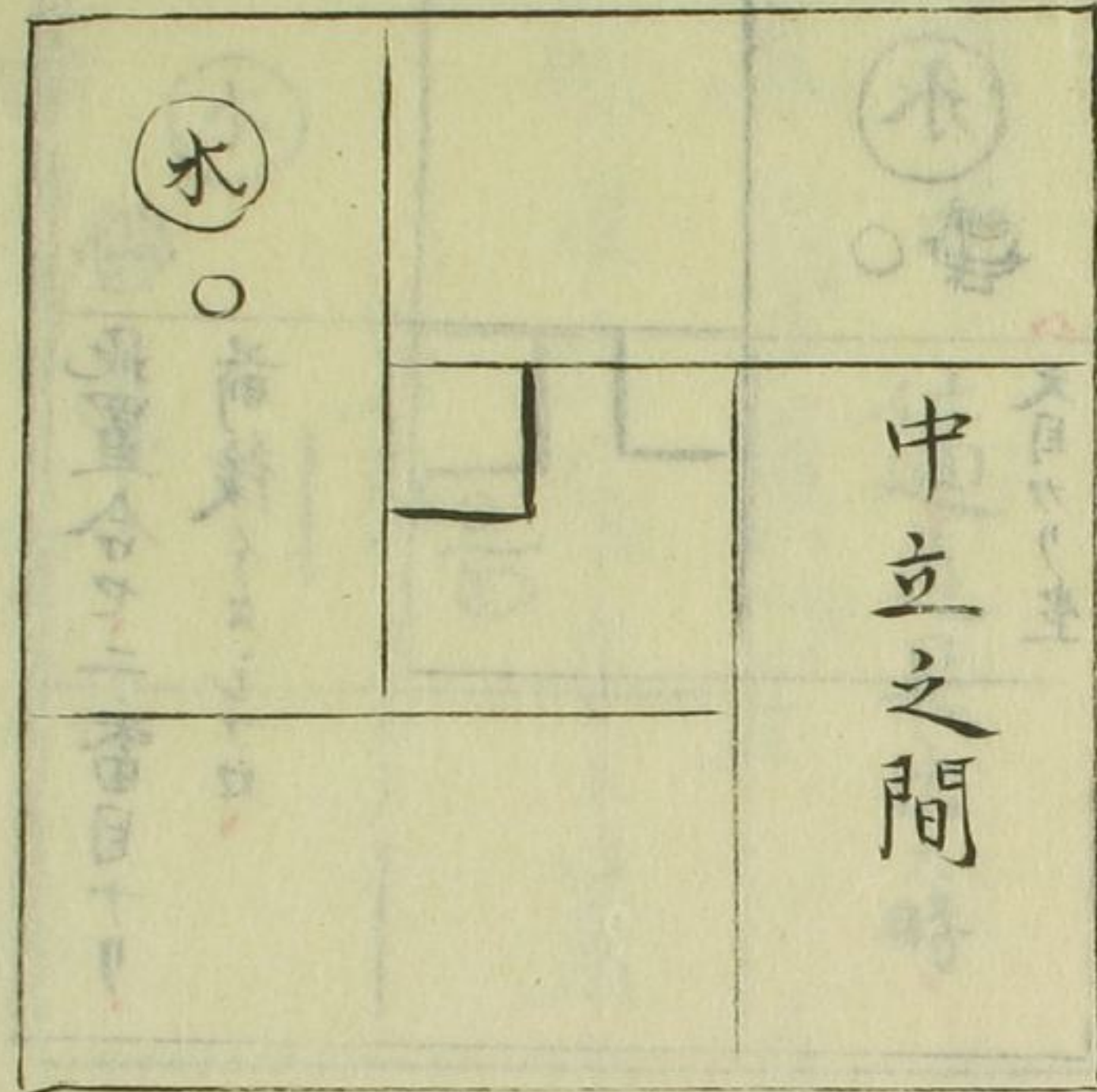
以上

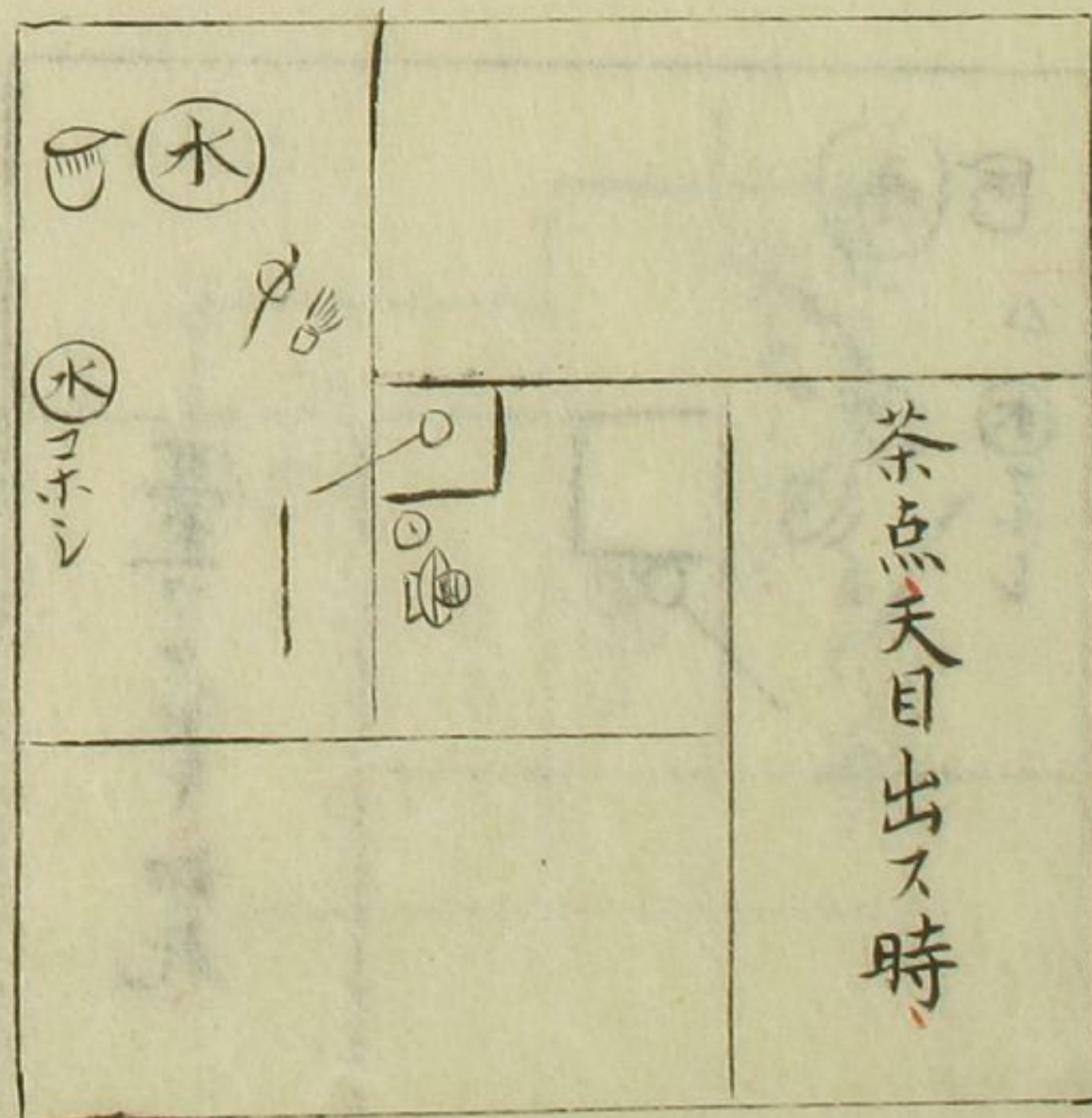
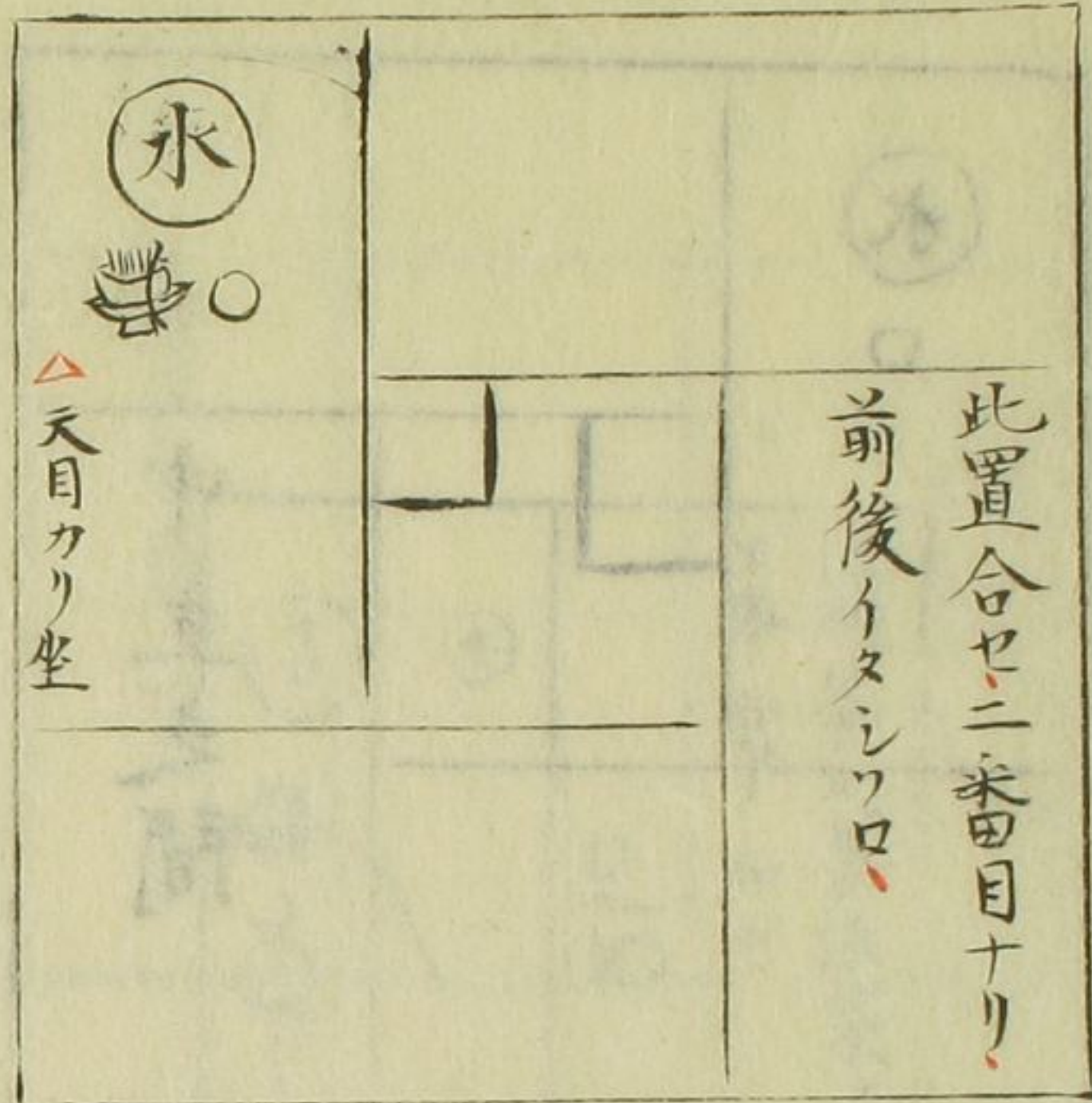
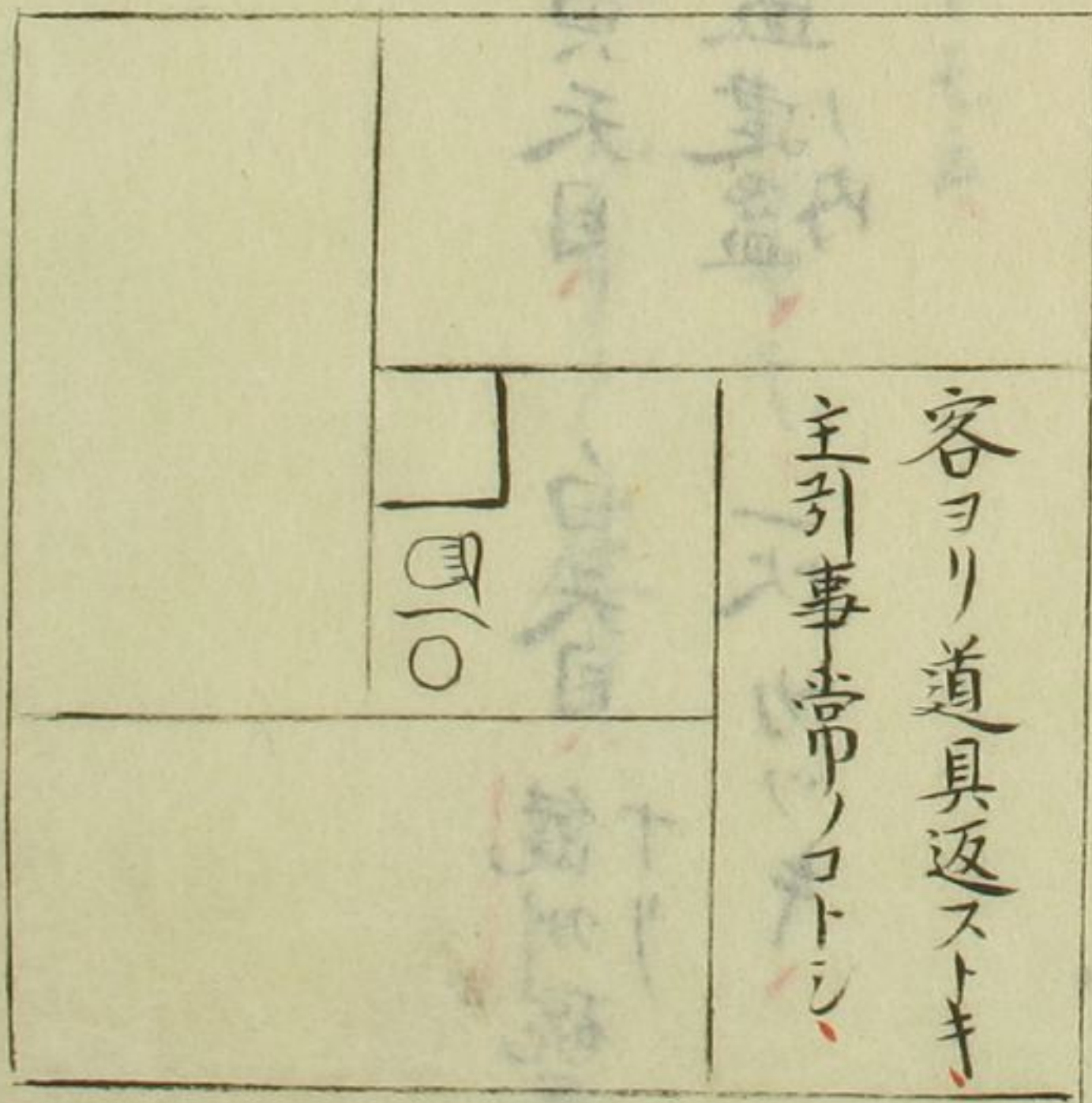
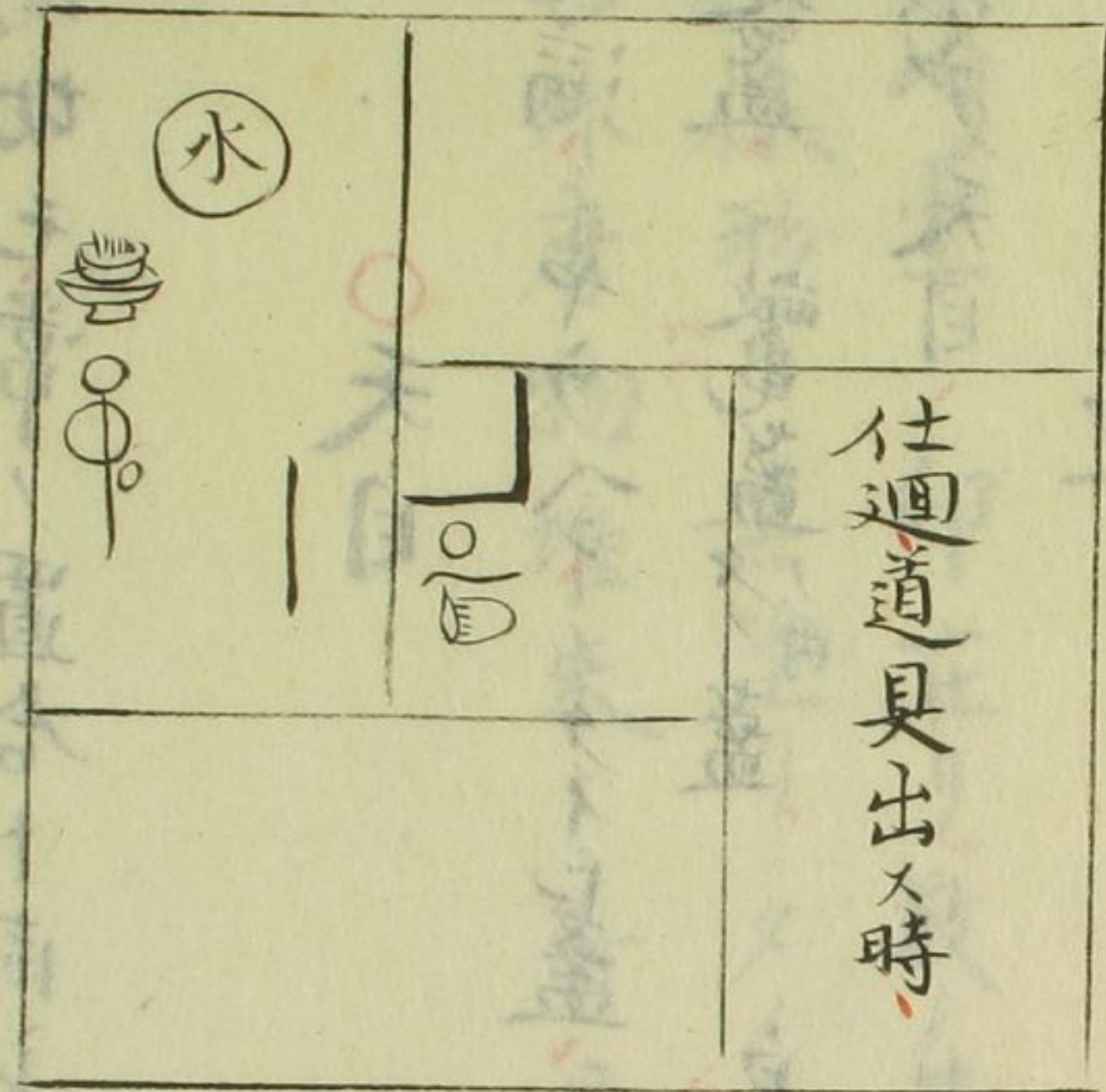
- 一 茶杓ハ象牙塗茶扱竹節ナレ決テ用テ茶全カウホ教穂カウホノ用エ
- 一 茶杓ヲ戴ルニ兩様在リ其臺スレタル時ハ天目ハカケ天目勝レタル時其臺ハカケル但天目ハカケル時常ノ如クウツムケ其臺ハカケル時テアツケルナリ陰陽ニスルナリ
- 一 木地ノ其臺等ノ目アラキハ三用ヒ同コニキハ横ニ用テ但道具組合
- 一 臺天目ノ手前在リ是ハ持出ル法ノ如クシテ点スル時ハヒモ木目立ニアフカサ
- 一 向臺下ニ在ルハカリニテ常ノ如クナリ去ナカラ天目ノ持扱ハ法ノ通り也其臺ノ客前ニテウキ申サズバカリト心得ヘシ手前ノ取モ同断也

是ハ天目傳授ナキ人貴人ヲ招タル時ノ事ナリ
 一 貴人ノ時常ノ茶碗ヲ其臺ノセ出ス事在リ其臺ハ先達ニ
 一 釣棚道幸或ハ棚類アラハ出シ置茶手前ハ常ノ如ク
 点テ扱テ棚ヨリ其臺ヲ取り茶碗出ス所ヘシキ其臺ノ上ニ
 茶碗ヲ兩手ニテ持テ一膝ヒラキ置ク但シ其臺ハ棚ナク水
木コホレヲツ先置此ノコトクスル事モアリ又至テ重キトキ通ノ者ハ
ワタレ置茶点タルトキ持出ルモ在此時ハスクニ通ヒ持行クカヨシ
 扱テ仕廻ニモ又茶碗ヲ取り前ニ置キ其臺ヲ元ノ所ヘ上テ
 置キ又通ヒ持出タラバカヨヒ茶碗取タル跡ニテ引ク也
 一 茶巾モ真ノ茶巾ニ置ムナリ



其臺フキヤウ此ノコトシ





文化十志 丁丑年二月五日

自序 志



志

8

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including a circular stamp and several lines of vertical text.

